

国際理解教育/開発教育 学習指導（活動）案

【実践者】

授業者氏名	中村俊佑	学校名	東京都立五日市高等学校
教科（科目）・領域	外国語（英語）・コミュニケーション英語Ⅱ	対象学年（人数）	2年 AB組（25名）
実践年月日もしくは期間（時数）	2022年11月28日（月）（全6時間）		

【実施概要】

1. 単元名（活動名）：Lesson8 Do We Need That?					
2. 実践する教科・領域： 外国語（英語）・ コミュニケーション英語Ⅱ	3. 学習領域				
		1	2	3	4
	A 多文化社会	文化理解	文化交流	多文化共生	
	B グローバル社会	相互依存	情報化		
	C 地球的課題	人権	環境	平和	開発
	D 未来への選択	歴史認識	市民意識	社会参加	
4. 単元の目標（評価規準を意識して設定）：					
①私たちの身の回りにある「モノ」について、本当に必要であるかを改めて見直し、「持続可能な消費とは何か」を考える。					
②日本では当たり前にある「モノ」や「サービス」が世界の地域ではどのように扱われているのかを知ること、日本の「当たり前」を問い直す。「持続可能な社会」の実現に向けて貢献できるようにするには、私たちのどのような行動変容が必要かを考え、提案する。					
③身の回りの「モノ」や「サービス」の必要性について、不定詞を用いた評価判断を示す I think it is (un)necessary for A to do～because...といった英語の型を利用して、自分の意見と理由を述べるができる。					
④意見には多様な論点があることを知り、相手の意見を尊重し、理解しようとする姿勢を示すとともに、相手の意見を踏まえたうえで、自分の意見を説得力のある根拠を示しながら述べるができる。					
5. 単元の 評価規準	①知識及び技能	(a) 「It is (un)necessary + for me to have～」の慣用表現を用いて、理由（because～）を示しながら述べるができる。 (b) 使役動詞 make, have, let（使役動詞+A+do）の動詞の形の特徴を理解し、違いを意識して使い分けることができる。			
	②思考力、判断力、表現力等	(a) 相手の意見を聞き、意見の多様性に気づくとともに、自らの意見を相対化して再検討し、意見を明確にして述べる。 (b) 英語の慣用表現の基本型を利用して、ジェスチャー・表情・アイコンタクトを適切に使用して発表することができる。			
	③学びに向かう力	(a) 身の回りのモノの必要性について、「自分事」として捉え、自分なりの根拠を考えて意見をまとめようとしている。 (b) 沈黙ではなく、相槌を行うなど相手の意見について、関心を持って聞き、分からない点について積極的に質問しようとしている。			

<p>6. 単元設定の理由・単元の意義 (児童/生徒観、教材観、指導観)</p>	<p>【単元設定の理由あるいは単元の意義】 教科書では、日本における「自動販売機」「ブックカバー」「駅でのアナウンス」等について、本当に必要であるのかを留学生同士が意見交換をしている。ディスカッションの際に、自分の主張をそう判断した根拠と共に述べていることがポイントである。特に注目したい論点として、「日本には当たり前にある自動販売機が該当生徒の外国にはなく、電気の無駄遣いではないか」という意見が述べられている。こうした論点を踏まえ、教科書に取り上げられている項目以外にも、日本の身の回りで「本当に必要なか」と思われる「モノ(コト)」を探す。日本で当たり前だと思って使用しているモノについて、他国の実情と比較検討することで、持続可能な暮らし方ができているかを改めて生徒が問い直す。このテーマを応用することで、自らの「持続可能な消費」の在り方を見直し、生徒が自身の行動変容につなげる契機とすることができる。また、身の回りの「モノ」が開発途上国の資源に依存していることを知ることで、世界の課題が私たちの生活と密接に関わっていることを認識させることができる。</p> <p>【生徒観】 本校生徒は、英語に対して苦手意識があり、自信がない生徒が非常に多い。そのなかでも、学年末の英語コンテストの実施等、英語を実際に使う機会をアウトプットする機会を設け、自分たちの生活と世界との関わりに気づかせる授業を行ってきた。2年時のコミュニケーション英語Ⅱの授業は2クラス3展開の習熟度別クラス(2クラスは標準、1クラスは発展)で、本クラスは発展クラスである。大半は実用英語技能検定試験4級～3級レベルの生徒だが、準2級・2級合格に向けた学習等、モチベーションを高めて取り組む生徒も出てきている。ペアやグループでの活動は比較的良く取り組み、反応も良いクラスではあるが、英語に自信がないからか、あまり自分から発言をすることや、積極的に発表を行うことは少ない。こうしたことから、ペアやグループでの発表原稿を作成する際には、シンプルな英語の型を示し、英語の音と文字を一致させるために、カタカナルビを振らせる等をしている。発表の際には大きな声で相手の顔を見て伝えることを意識させ、間違うことを恐れず、良い部分を褒め、自己肯定感を高める工夫を行いながら授業を運営している。</p> <p>【教材観】 教科書は、英語初学者が無理なく学べるように、各レッスン2～3パートごとの構成になっており、扱われる文法事項や英文もシンプルなものが多い。イラストや写真も多用されていて、学びやすい工夫がなされている。国際理解につながる題材としては、Lesson8の他には、Lesson2のDoraemon in the U.S.、Lesson10 Ban Shigeru, Architect of Paper, Lesson11 Win for Our Nation, Lesson12 From Small Factories to the Worldと、全12レッスン中、5レッスンとなっており、日本と世界のつながりを示す題材が多く取り上げられている。自分の意見を英語で述べる際に、ワークシートやPPT等で、英語の表現の型を示して活動を円滑に進めやすくしている。</p> <p>【指導観】 日本人が当たり前だと思っていることも、他国から見た場合、違和感を持つ事例があることをテーマにした題材がある。教科書では3パートに分かれており、「自動販売機」「ブックカバー」「駅でのアナウンス」の必要性について、日本にきた留学生が議論を交わしている。賛否と共に理由がシンプルな英語で示されており、こうした事例を基に、他の事例がないかを生徒の身の回りから探して、英語で根拠を示しながら意見を言えるようにする。日常にある当たり前のことを疑い、それぞれの事象に対して多様な視点があることを知る。これをきっかけに生徒が自国のことだけでなく世界的な視野で物事を捉え、協働の中で自分の考えを再編成できるようになることを目指す。そして、「身の回りにある必要なさそうなもの」という視点から日々の行動を振り返り、小さな行動変容を積み重ねていくことで、身近なことから世界的な課題解決につながるアクションができる生徒を育てていく。</p>
--	--

7. 単元計画 (全6時間)			
時	ねらい	学習活動	資料など
1 導入	<ul style="list-style-type: none"> ・タイトルから本文がどんなテーマの英文なのか推測させ、本文を読むレディネスを高める。 ・本文の内容を自分事化する。 ・本文を通して読み、意味の概要をつかむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・タイトルから連想されるキーワードをマインドマップに書き出す。 ・身の回りにある「これって、本当に必要？」と思うものについてマインドマップに書き出して、共有する。 ・本文を通して読み、自動販売機、ブックカバー、駅でのアナウンスの必要性について、誰がどんな立場の意見を持っているかをまとめる。 	ワークシート・PPT・教科書
2 展開	<ul style="list-style-type: none"> ・新出単語の意味と発音を確認し、再度、本文を読んで意味を把握する。 ・日英のチャンキングシートを配布し、英語の語順に則って、日本語の意味・文法・英文構造を理解する。 ・音読練習を行い、英語的発想を体得する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアで単語の理解度確認を行う。 ・本文の意味の再確認と理解度が不十分な箇所についてチェックする。 ・チャンキングシートを用いて、英文の内容を確認し、ペアで音読練習を行う。 	ワークシート・PPT・教科書
3～4 展開	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の内容のQAで理解度確認を行う。 ・新出単語の意味と発音を確認し、再度、本文を読んで意味を把握する。 ・日英のチャンキングシートを配布し、英語の語順に則って、日本語の意味・文法・英文構造を理解する。 ・音読練習を行い、英語的発想を体得する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の内容に関する英語での発問に答える。 ・ペアで単語の理解度確認を行う。 ・本文の意味の再確認と理解度が不十分な箇所について確認する。 ・チャンキングシートで、英文の内容を確認し、ペアで音読練習を行う。 	ワークシート・PPT・教科書
5 本時	<ul style="list-style-type: none"> ・Lesson8の内容について、Q&Aの英問英答に答えることで、振り返る。 ・身の回りで必要のないものとその根拠について英語で発表する。 ・生徒同士で意見を述べ合い、グループの見解を示す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の内容に関する英語での発問に答える。 ・身の回りの必要ではないものをマインドマップに書き出し、その根拠を示す。(Warm-upで行ったものに追記) ・英語の表現の型を用いて、根拠と共に必要のないものを英語で述べる。 ・グループで意見交換をして、個人が賛否を示し、共有して、グループの見解を1つに絞る。 ・発表のための資料を作成する。 	ワークシート・PPT・教科書・『世界とつながる日本』・A3用紙・iPad・Classi
6 まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・「必要のないもの」を見直すことで、どのような課題解決ができるかを考え、そのためのアクションプランを作る。 ・日本であたりまえにあるものは実は外国ではあたりまえにないものであり、そのことに持続可能な消費のヒントがあることを考える。 ・各班のアクションプランの発表を聞いて、Best Action Planを共有し、持続可能な社会の実現に向けて、これから自分にできること・行動することを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アクションプラン発表資料・発表原稿を作成し、発表練習を行う。 ・発表者が各班を回り、班員は他の班のアクションプランをそれぞれ聞いて、メモを取る。最終的に、Best Action Planを決め、Formsで投票する。 ・ALT(フィリピン出身)にJeepneyの話、JET(アメリカ出身)にフルーツの過剰包装について英語で意見を述べてもらい、日本のあたりまえが外国の人からは違和感に感じていることがあることを学び、自らの「持続可能な消費」を考える。 ・授業で学んだことを振り返りのワークシートに記入、Classiでも学んだことをアンケートに記入する。 	Forms・アンケート回答QRコード・PPT・iPad・Classi・ワークシート・SDGsシール(JICAより提供されたもの)

8. 本時の展開（概略）

本時のねらい：

- (1) これまでの教科書のパートで学んだ内容について、本文中の英語表現を用いて答えることができる。
- (2) 不定詞を用いた評価判断を示す **I think it is (un)necessary for A to do~because...** という表現の型を利用して、自分の意見と理由、実現できることを平易な英語で述べるができる。
- (3) 相手の意見を踏まえたうえで、自分の意見を相対化して検討し直し、より説得力のある根拠を示しながら自分の意見をまとめることができる。
- (4) 日本の当たり前が他国では当たり前でないことを知り、地球規模の課題解決のための小さなアクションを起こすための視座を得る。

過程・時間	教師の働きかけ・発問および学習活動	指導上の留意点 (支援)	資料（教材）
<p>導入 (10分)</p>	<p>○Review（これまでの授業の復習） 教科書の2パート（p.86, 88）で学んだことを振り返り、日本では「あたりまえ」のことが海外では「あたりまえ」ではなく、その必要性について多様な意見があることを確認する。</p> <p>T : What are the three things covered in this lesson?—S : Vending machines, Book covers, Announcements in the train station.</p> <p>「日本にとっては当たり前にあるものが、海外の人には奇妙に思えることもあるということでしたね。今挙げてもらった3つのモノについてどのような意見が交わされていたか振り返りましょう」</p> <p>(Part 1) 自動販売機の必要性についての意見</p> <p>T : Who are talking about vending machines? S : Mike and Bella.</p> <p>T : Why does Mike think vending machines are wonderful? S : Because he can buy things anytime, anywhere.</p> <p>T : Why does Bella think it's not necessary to have vending machines? S : There are two reasons. First, she likes to buy things from real people, not from machines. Second, vending machines waste too much electricity.</p> <p>(Part 2) ブックカバーの必要性についての意見</p> <p>T : Who are talking about book covers? S : Hans and Chens.</p> <p>T : Why does Hans think book covers are not</p>	<p>ワークシートを配布して必要事項を書かせた後、Review に記入することを伝える。</p> <div data-bbox="901 913 1453 1243" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>Lesson 8 ①</p>  <p>Mike: Vending machines in Japan are wonderful. You can buy things anytime, anywhere. Last summer, I became very thirsty while I was jogging in the park. Then I saw a vending machine. I was really happy to get a bottle of cold water. Thanks to vending machines, life is easier.</p> <p>Bella: That's true, but do we really need one on every street? I like to buy things from real people, not from machines. Besides, they waste too much electricity!</p> </div> <p>生徒を全員立たせてグループごとに、教員の英語での問いに答えていき、答えられたらグループメンバーは着席する。着席した生徒はワークシートの Review の部分に記入しながら、復習する。また、起立している生徒へヒントを教える等、座っている生徒にも支援をするように伝える。発問はALTの先生が行い、生徒の状況に応じて、発問した英文をスライドで示す。また、該当部分の Part についての英文を</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・PPT ・教科書

necessary?
 S : He thinks that they're a waste of paper, because books already have jackets.
 T : Why does Chens think it's necessary to have book covers?
 S : There are two reasons. First, she can keep the original jacket from getting dirty. Second, when she's reading a book, she doesn't want others to know the title.

2つの理由を述べるとき

There are two reasons for this.

First, 1つ目の理由を「主語+動詞～」で表現

Second, 2つ目の理由を「主語+動詞～」で表現

↓ ワークシートの記入例 PPT

Things	Agree <small>PROS</small>	Disagree <small>CONS</small>
Vending machines	◆ Name : Mike ◆ Reason : Convenient — can buy things anytime, anywhere.	◆ Name : Bella ◆ Reason : ① likes to buy things from real people, not from machines. ② Vending machines waste too much electricity
Book covers	◆ Name : Chen ◆ Reason : ① keep the original jacket from getting dirty ② doesn't want others to know the title	◆ Name : Hans ◆ Reason : waste of paper ⇨ already have jackets
Announcements in the train station	◆ Name : Aber ◆ Reason : helpful — visitors and blind people to hear necessary information	◆ Name : Sarah ◆ Reason : too noisy, make her feel like a child

スライドで示し、場合によっては、指さしてヒントを与える。
 ※原則、英語で回答させるが、生徒の実態や発問内容によっては、部分的に日本語でヒントを与える。また、生徒の状況に応じて、日本語で回答する場面があっても良いこととする。

Lesson 8 ②

Hans: I bought a book yesterday. The clerk at the bookstore asked me, "Would you like a book cover?" I was surprised. It already had a jacket. Isn't it a waste of paper?

Chen: No, I don't think so. I always have a clerk put a cover on my book. Then I can keep the original jacket from getting dirty. Some bookstores have covers with their own designs. They are really nice. Also, when I'm reading a book, I don't want others to know the title. So, I need book covers.

理由が2つあるときは、
There are two reasons.
First, Second～.の言い方で答えるように指導する。
 ワークシートへの記入を補助するため、スライドで記入例を示しながら、授業を展開する。

展開
 展開 1
 (5分)

○身の回りにある必要ないものを見直し、自分の意見を根拠と共に明らかにする

「1つの事象に関しても、様々な見方・考え方があることがわかりましたね。では、今度は、自分の身の回りにあるもので、教科書に挙げられていなかったもので必要ないのではないかというものを探してみましょう。そして、なぜそう思うのかの根拠と、それを使わないようにすることでどんな課題が解決できるのかを考えてみましょう。」

T : You've found that there are various opinions for each. So, today, I'm going to ask you to find something around you that you don't think you need. And finally, I'd like you to share your opinions in your groups. Then, let's think about

1つの事象に対して様々な見方・意見があり、それを尊重するとともに、そうした意見を聞くことで自分の見方を捉え直すこともできることを日本語で補足する。

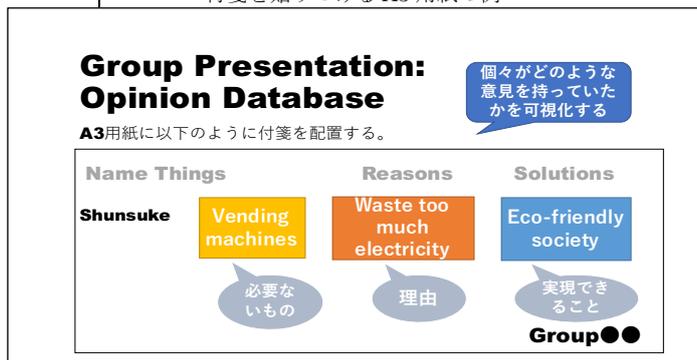
(参考資料)

<p>展開 2 (18分)</p>	<p>what issues can be solved by rethinking how we use the things we don't need.</p> <p>T: List as many things you don't think you need as possible. Look at the last handout and add more ideas to this mind map. (5min) 【Task1】</p> <p>S: お箸と一緒にいる楊枝 (toothpics) / 新聞や郵便受けに入っているチラシ (fliers) / テレビ (TV) / ペットボトル (plastic bottles) / 扇風機 (electric fans) / 使い捨てマスク (disposal masks) / 段ボール (cardboard boxes)</p> <p>いくつか挙げた「必要ないと思うもの」から 1 つ選ぶ。</p> <p>T: Pick one thing you'd like to address in this discussion.(2min) 【Task2】</p> <p>なぜ、それが必要ないと思うのかについて理由を記述する。</p> <p>S: ほとんど使わずに捨ててしまっているから / 自分には関心がないものも入っていてほとんど見ないから / スマホや You-tube で見られるから / 毎日飲んで捨てているから / 冷房が教室にあるから / 毎日使って捨てているから / 商品を頼むと必ず段ボールで包装されているから</p> <p>T: Why do you think the thing you chose is unnecessary? Give some reasons.(3min) 【Task3】</p> <p>もし、その必要ないものを使わなければ、実現できること (どんな課題が解決できるか) について記述する。</p> <p>S: 森林保護につながる / 紙資源の削減につながる / プラゴミ削減につながり、海や川の生態系を守る / 電力の逼迫を防ぐ / 希少な金属を輸入しなくて済み、資源の枯渇を防ぐことができる。</p> <p>T: If we don't use them, what problems can we solve around us? (3min) Also, write down on three different sticky notes each "what you don't need" (yellow), "why" (red), and "what you can achieve" (blue). 【Task4】</p> <p>自分の意見を英語にまとめる。</p>	<p>教科書の事例等を学んだうえで、さらに思いついた新しいアイデアがあれば、追加していく。生徒の状況を見て、思いつかない生徒が多そうなときは、「もったいないもの」をキーワードに教室内を見てもよと声をかける。また、「レジ袋」(plastic bags) 有料化が日本では、他国より遅かったことを指摘する。</p> <p>理由と実現できることをワークシートに記入する。この時点では、日本語で書いても良いこととする。</p> <p>iPad を用いて、翻訳支援アプリを用いても良いこととする。共通部分のフォーマットの読み方について、英語で発音の確認をする。書いたものは JET の先生に見せ、発音</p>	<p>・『世界と私たち』 https://www.jica.go.jp/aboutoda/find_the_link/index.html</p> <p>・『プラスチックごみ・開発教育アクティビティー集④』</p> <p>・『国際理解教育実践資料集』</p> <p>・付箋 3 種類 (青・赤・黄色)</p> <p>・ワークシート</p> <p>・iPad、翻訳支援 : DeepL (https://www.deepl.)</p>
-----------------------	---	---	---

<p>展開 3 (7分)</p>	<p>T : Make your opinion in English based on the format below. You can use “Deep-L” in order to look up any expressions you don’t know. (10min)</p> <p>【 Task5 】 After this, you will make a presentation to the group, so please practice reading the presentation manuscript in a loud voice.</p> <p>「この後、グループで発表してもらうので自分の意見を大きな声で読めるように練習をしておいてください」</p> <ul style="list-style-type: none"> • I think it’s unnecessary for us to have toothpicks in disposal wooden chopsticks bags, because in fact, I have never used it, and also haven’t seen anyone around me using it. That’s clearly a waste of natural resources. By not having them, we can protect limited forests. (私は割りばし袋の中にある楊枝は必要ないと思う。実際に私は使ったことないし、私の周りの人が使っているのをみたことがない。明らかに自然資源の無駄だ。楊枝がなければ、有限の森林を守ることができる) <p>○グループでの意見を共有して、新たな視座を得る。</p> <p>「発表を聞きながら、『①必要ないと思うもの』『②理由』『③実現できること』の3点をワークシートにメモしながら聞きましょう。その際に、自分がそれぞれの意見に対して賛否の判断をしてワークシートに記入してください。発表者は発表が終わった後、各グループに配布した A3 用紙に付箋 3 種類を分けて貼っておいてください。」</p> <p>T : Make groups of five. Give your opinion one by one. Listeners should take notes in the table below and make your own judgement for each opinion. Decide who will be the first presenter. After that, make your presentations in a clockwise direction. Presenters, after your presentation, put your three sticky notes on their specified sections. OK, now first[second/third/fourth/fifth] presenters,</p>	<p>を確認して発音練習を行う。また、「必要ないもの」(黄色)・「理由」(赤)・「実現できること」(青)をそれぞれ 3 種類の付箋に書き出す。</p> <p>5~6 人のグループになって、順番を決め、1 人ずつ英語で発表していく。また、書記を決めさせ、PPT に示してあるような形で付箋を貼りつけるフォーマットを作成させる。 ※ ①までは必ず英語で言い、②・③は状況に応じて、日本語で説明しても良い。</p> <p>強く賛成 (Totally agree) ・ 強く反対 (Totally disagree) の場合はそう判断した根拠をメモしておくように伝える。</p>	<p>com/translator)</p> <ul style="list-style-type: none"> • A3 用紙 (各班に 1 枚) • ワークシート • PPT <div data-bbox="900 636 1453 976" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;">Short presentation format</p> <p style="text-align: center;"> I think it is unnecessary for us to have vending machines, because they waste too much electricity. By not having them, we can realize an eco-friendly society. </p> <p style="text-align: right;">①: 必要ないと思うもの</p> <p style="text-align: right;">②: ①の理由</p> <p style="text-align: right;">③: 必要ないものを持たないことで実現 (解決) できること</p> </div>

stand up.

↓付箋を貼りつける A3 用紙の例



発表生徒は立って、聞き手を意識して、相手に伝わる声で発表するように指示する。A3 用紙の Opinion Database で振り返りをさせながら、自分が最も説得力があると感じた意見に○をさせ、アンケートでも回答させる。また、自分の意見を振り返り、論拠の弱い部分があれば、追加させる。グループでの協働により、どんな変化があったか内省させる。

- ・ Classi アンケート
 - ・ ワークシート
- ↓ 次回の予告 PPT

まとめ
(5分)

○共有した意見をもとに、自分の意見を再度、振り返る

「自分が一番、同意する意見の番号に丸をしてみましょう」

T : Circle the number of the opinion which you most agree with on your worksheet.

ワークシートおよび、iPad の Classi でアンケートに答えさせ、振り返りをさせる。「自分の意見を振り返り、自分の判断の正当性等を自己チェックして、追加があれば付け加えましょう」

T : Reflect on your opinion, and self-check your justification for your decision. Also, add information or make corrections on your worksheet if necessary.

「次回は、グループで共有した Best idea を 1 つに絞って、どんなアクションが起こせるかをグループ内で決めて、全体に発表してもらいます。」

T : In the next class, each group will decide what actions can be taken to narrow down the ideas shared by the group to one Best Idea, and present it to the whole class.

Our Action



In our opinion,
we think **it's unnecessary**
for us to have ○ _____,
because it @ _____.

By not having them,
we can @ _____.

次回の予告をして、授業を終える。

9. 評価規準に基づく本時の評価（評価方法）

- (1) 本文の内容に関する英語での質問に対して、ヒントなどを利用して、簡単な英語で応答できる。（授業での発問への応答）
- (2) 自分の意見を根拠や解決策を明確にしなが、英語で書くことができている。また、相手に聞こえる声の大きさで、ジェスチャー・表情・アイコンタクトを適切に使用して、英語で発表することができている。（ワークシートへの取り組み状況・英語での発表練習への取り組み・グループ内発表の観察）
- (3) グループワークでの仲間の意見を最後まで聞いたうえで、自らの意見を再検討し、論拠を補強することができている。（グループワークの観察・グループワーク後の振り返りの記入状況）

<p>(4) 日本に当たり前にあるものが実際は必要ないのではないかと再検討することで、課題解決につながるのではないかとという視座を持って、英語で意見を書き、述べることができる。(ワークシートの記入状況・グループ内発表の観察)</p>
<p>10. 学習方法および外部との連携</p> <p>(1) 地域を舞台にした高校生企画の SDGs 修学旅行の実施</p> <p>「総合的な探究の時間」では、地域の課題解決につながる「持続可能な観光」をテーマに地域を舞台にし、地域の資源(人・モノ・サービス)を活かし、SDGsの経済・環境・社会の側面を統合的につなげて考えた地域の課題解決につながる「持続可能な修学旅行プラン」を作成している。「観光甲子園 2022」の準決勝に1チームが進出した。英語の授業でも、生徒たちの考えたプランの英語プレゼンテーションを英語で作成している。</p> <p>(2) JET や ALT の教員との連携</p> <p>この授業の最終時に JET (アメリカ出身)・ALT (フィリピン出身) の2人に出身国にはないもので、日本で生活していて、「これって必要?」と疑問に思うものについて挙げてもらい、プレゼンをしてもらう。</p> <p>(3) JICA エッセイコンテストへの1~2学年全員参加</p> <p>SDGsを自分事化し、世界と日本のつながりを知り、自分の経験に即して、私たちの地球のために自分が行動できることを考えて文章化した。1~2年が全員参加している。</p> <p>(4) SDGsにつながる「もったいないプロジェクト」の実施</p> <p>文化祭で「もったいないの木」の展示を作成し、生徒や教職員が日々の生活の中で「もったいない」と思うもの(こと)付箋で貼ってもらい、学校全体で、持続可能なモノの消費について考える。</p>
<p>11. 学校内外で国際理解教育・授業実践を広める取り組み</p> <p>毎年行っている JICA 出前講座では、今年度、長期滞在研修員を呼び「日本に来て、出身国にはないものでこれって必要?」と思うものについてプレゼンしてもらう。また、生徒の SDGs 修学旅行プランの英語プレゼンテーションを聞いてもらい、助言を頂くとともに、そのプランをもとに生徒が地域を紹介しながら巡検を行う。また、現地に派遣中の青年海外協力隊隊員と教室をつないで、以上のような観点から、隊員に現地の生の報告をしてもらうことも計画している。</p>

【自己評価】

12. 苦労した点	<p>※学習活動が展開する中での苦労や、そこで見えてきた問題点を記入して下さい。</p> <p>・「身の回りにある必要ないもの」については、生徒にとっては、「必要だから存在するのだ」と自明のものをあえて問おうとせず、なかなか思いつかない生徒もいた。また、「二酸化炭素」「騒音」「税金」といった具体的なモノではない回答や、「石」「パイナップル」という個人的に嫌いなものを挙げた生徒もいて、こちらの意図することとは違った答えを提示してくる生徒もいた。「必要ないもの」の定義を「持続可能な消費」とつなげて例示していくことも必要であったと感じた。</p>
13. 改善点	<p>※実践を再度実施することや、他の学校で追試する場合のことを想定して、改善点を示して下さい。</p> <p>・ Do you need that?という問いは、「必要である」という立場で聞くか、「必要ないのではないかと」という立場で問うかによって、両方の答えがあり得ることが生徒の発言からも指摘された。今回は立場を明確にして、「必要ないもの」に着目することで、「持続可能な消費」を考える意図で行ったが、置かれている文化や個人の立場によって意見が異なり得ることも踏まえ、それがディスカッションの起点にもなるので、どのような</p>

	<p>「問い」を発するとより対話的で深い学びにつながるか引き続き議論したい。</p> <p>・ALT/JETの先生に自分たちの国の実情について意見を述べてもらう時間が十分に取れなかった。本来であれば、ALT/JETの先生が日本に来て感じている違和感などを共有してディスカッションにつなげていく等の試みをできれば、異文化理解にもつながる授業が展開できたのではないかと考える。</p>
14. 成果が出た点	<p>・他者と意見を共有することで、自分では思いつかなかった「気づき」を得られたことは、生徒にとって大きな収穫であった。「身の回りの自分にとってのあたりまえ」は、「他の国ではあたりまえではない」ことや、「他の人にはあたりまえではない」ことに気づくことが異文化理解の第一歩であり、それを行動につなげていくことがSDGsの課題解決につながる重要なステップである。</p> <p>・「身の回りにある必要ないもの」として、プラスチックのストロー・ペットボトルのラベル・紙のレシート・こたつ・鉛筆・上履き・ネクタイ・クレヨン・黒板・チョーク・教科書・iPad・タバコ等が挙げられた。最後のまとめの授業では、ALT（フィリピン出身）の先生から、日本との違いについて、ガス自動車の話があった。フィリピンの田舎では、貧しい人が多いため、自動車が一家に一台なく、それを解決する手段として、Jeepneyという乗り合いバスのようなものがあるとのこと。JET（アメリカ出身）の先生からは、日本では、フルーツなどに包装がされていることが多いが、アメリカでは、フルーツが包装されておらず、個々に自分の必要な分だけ取っていく形式であることが伝えられた。他国の現状と比較することで、日本の「あたりまえ」が実は、「持続可能」につながっていないこともあることが理解できたのではないかと考える。</p> <p>・自分たちが出した意見やアイデアを、ディスカッションを円滑にするためにA3用紙に可視化させた。そして、自分たちが出した意見がSDGsのどの項目と関連するものであるかを考え、意見に該当するSDGsシールを貼りつける活動を行った。SDGsへの理解を深めると同時に自分たちの身の回りの課題をグローバル的な視野でとらえる橋渡しとなる活動となった。</p> <p>・英語教育と国際理解教育の接点として、自分の意見を英語の表現の型を用いて伝えることを意識した。今回は、It is unnecessary for us to have..., because....By not having them, we can...という表現の型を利用して…の部分に自分の意見を入れ、1人1人が班員に英語で発表を行うという活動を行った。短い英文ではあるが、生徒は表現の型を覚え、英語で自分の意見を表明する方法を体得した。（授業ではSpeaking modeでの評価を行ったが、定期考査ではWritingとして出題して評価を行った）互いの意見を聞き、出た意見を班員それぞれが判断を加える。その過程で、意見の多様性に気づくと同時に自らの考えを見直す契機ともなった。</p>
15. 学びの軌跡 （児童生徒の反応、感想文、作文、ノートなど）	<p>※この単元における学習者の変容が読み取れることを意識して下さい。記入者が文章記述を通して「このように変容した」と教師の言葉でその見取りを書くことも可能ですが、できる限り学習者本人の言葉や作品で示していただくことにより、具体性、説得性の高いものになります。</p> <p>(1) 意見の多様性があることへの気づき ※斜字体は生徒の回答をそのまま記載してある ⇒ディスカッションの中で、様々な価値観や考え方に触れ、「そんな考え方もあるのか」という自分にはなかった考え方に気づきを得て（自己の相対化）、「そう考えた方が良いかも」（自己の変容）という自身の立場や考え方が変化していくといった他者との協働</p>

の中での個人の変容のプロセスを経験させることが ESD においては必要なスキルである。

みんなが思う必要のないものにばらつきがあって、そんな考えもあるんだなと気づいた。／色々な考え方があって改めて感じた／自分があるって思ってたものも他の人にとってはいらなかったりするんだなと思った／自分では考えないような意見があって素敵だと思った／自分は必要だと思ったものでも他人は必要ではないと感じていたこと／確かになって思うものが多かったです／みんなの意見は自分が考えていたものとは違って面白かった／さまざまな考え方があったと学んだ

(2) 身のまわりの課題についての気づき

⇒課題の「自分ごと化」のためには、身のまわりへの気づきが重要である。身のまわりの課題に気づき、行動できる生徒を育てることが持続可能な社会の作り手を育成する第一歩である。

不必要なものって意外と多いなと思った／いっぱいいないものがあるなと思った／身の回りにも、やりすぎなものがたくさんあるなーって思いました。／要らない物は沢山あることに気づいた／身の回りにある要らない物は何か積極的に探そうと思った

(3) 日本のあたりまえをグローバル的な視点で捉え直すことに課題解決のヒントがあることへの気づき

⇒十分時間が取れなかったクラスもあるが、他国と比較することで、日本ではあたりまえのことが海外では当たり前ではないことに気づくことで、実はそこに課題解決のヒントがあるのではないかと。「日本の過剰包装は世界から見るとマジ無駄。」とコメントをした生徒がいたが、私たちの生活はグローバル的な視点で見たら本当に持続可能な社会に貢献する生活をしているのだろうかと思い直すことが重要である。

～発表活動（研究授業）の様子～



生徒1人1人が英語の表現の型を用いて、自分の意見を述べ、班員は個々の意見をワークシートにまとめていくようにした。



班員にアイコンタクトをしながら伝えるよう指導したが、原稿を見るため、下を向いてしまう生徒が多かったのが課題であった。

～発表活動（研究授業後）の様子～



A3用紙にグループのオピニオンを個々に付箋で可視化し、それぞれが出した意見がSDGsのどの項目と関連があるかを、SDGsシールを貼りながらグループで検討した。その後、グループ内でベストオピニオンを決め、代表が各班を回って英語で発表を行った。



～生徒記述のワークシート～

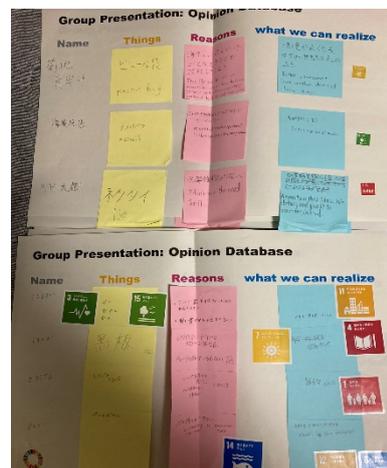
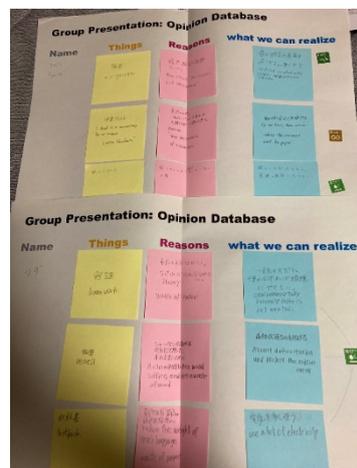
Discussion Make groups and make your judgement for each opinion. (グループで話し合いを行い、意見への同意の度合いを○しましょう。)			
Name	Things	Opinion (Reason & Solution)	Totally disagree
① 小南	黒板	チョークで汚れていい → 掃除を毎日する	1
② 野村	分板	くつろげばいい → 掃除を毎日する	1
③ 野村	ポイント	ポイントがいい → 掃除を毎日する	1

Discussion Make groups and make your judgement for each opinion. (グループで話し合いを行い、意見への同意の度合いを○しましょう。)			
Name	Things	Opinion (Reason & Solution)	Totally disagree
① 小南	ポイント	細々と問題を解決している → 掃除を毎日する	1
② 野村	ポイント	分板がめんどう → 掃除を毎日する	1
③ 鈴木	ipad	スマホで活用できるから ipadは自分の好きなように使う	1

Discussion Make groups and make your judgement for each opinion. (グループで話し合いを行い、意見への同意の度合いを○しましょう。)			
Name	Things	Opinion (Reason & Solution)	Totally disagree
① 海老原	スベイク	わたしのスベイクは使わない いい。木材が節約	1
② 川下	スベイク	必要性がない。 余ったモノにあげることがいい	1

生徒個々のオピニオンを、発言者情報を付して書かせ、データベースとして可視化させた。

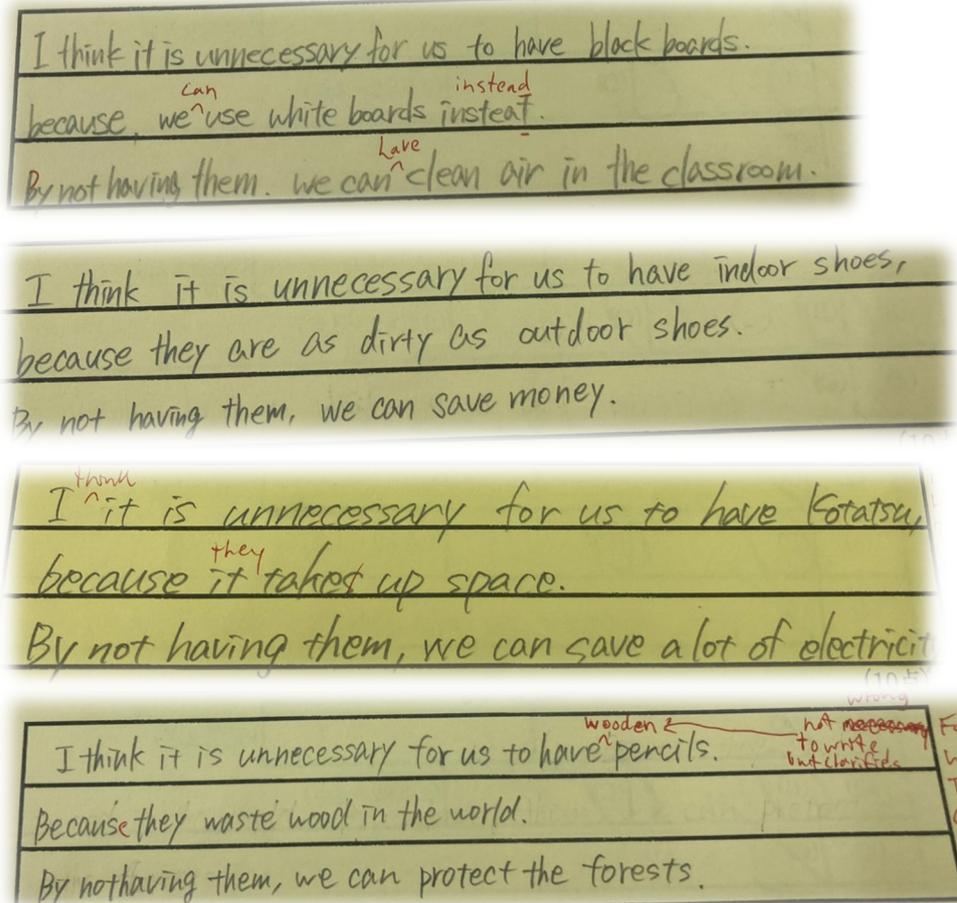
～生徒がグループで作成した A3 用紙～



黄色が「必要ないと思うもの」、赤色が「理由」、青色が「使用しないことで実現できること」を記載させた。個人が出したオピニオンに関連するSDGsシールを貼ってタグ付けさせた。

～考査で出題した生徒の英作文の解答～

事前に今回の授業で行った英文を英作文形式で出題することを伝えておき、自分の主張を多くの生徒が覚え、考査ではそれを書いてきた。授業では **Speaking**、考査では **Writing** で確認といった形で 4 技能 5 領域をカバーする内容ともなっている。



16. 授業者による自由記述

今回、普段の英語の授業の中でどう国際理解の視点を入れて授業を行うかに主眼を置いて授業を構想した。これまでは、進度の関係もあり通常の授業内で行わず、学期末の授業を利用して SDGs、多文化共生に関わる研究授業を行ってきた。しかし、より汎用性の高い学習指導案の作成を行い、多くの教員に実践してもらうためには、教科の授業の中でどのように国際理解教育の見方・考え方を取り入れていくかについての自分なりの解を出す必要があった。こうした経緯もあり、教科書の単元を改めて国際理解教育の視点で見直し、授業を構想した。全体の授業の進行状況を踏まえて、今回の単元を選んだ。以前、この単元で授業を行ったときには、国際理解的な視点で言及することはなかった。しかし、改めて見返してみると、教科書を読むだけでなく、読んだ内容を「自分ごと」にして、意見を表明するアウトプット活動 (Read&React の活動: 田中(2017)) の中で国際理解教育の視点で取り組ませることが可能になることを実感したのは大きな収穫であった。JICA 地球ひろばより竹田所長、畔上課長の 2 名の方が授業見学に行らっしゃり、「国際理解を取り入れた活動型の授業は新鮮で、自分もこのような授業を受けたかった」と言ってくださった。英語の授業において、活動型授業を運営していくためには、生徒の英語力の育成や意見を持つための前提となる知識や考え方を生徒自身がレディネスとして持つておく必要もあり、課題は多いが、生徒の実態も踏まえなが

ら生徒が多様な視点を持って自身の意見表明ができるよう、普段の授業の中で指導を工夫していきたい。私の「国際理解×英語」の授業の目指すところは、次の 4 点である。①グローバル的な視野で身のまわりの課題を自分ごとにして行動できる生徒の育成、②課題解決のために他者と協働してたくましく、しなやかな柔軟性を持って、アイデアを共に創造していく力の育成、③授業を通して、視点を得て、視座を高め、生徒自らの考えや課題を更新していく生徒の育成、④英語の表現の型を用いて、自らの意見を英語で力強く表明できる生徒の育成である。今後も国際理解教育と英語教育の両輪で授業実践を重ね、授業力の向上に努めていきたい。

参考資料：

・世界と日本の比較：レジ袋規制について

<https://www.vill.shimukappu.lg.jp/shimukappu/section/kensetsu/nmudtq000004mtxz-att/nmudtq000004mu0n.pdf>

<https://www.mymizu.co/blog-ja/eco-with-kanae-plastic-bags-japan-charge>

<https://ideasforgood.jp/matome/plastic-regulations/>

『世界と私たち』 https://www.jica.go.jp/aboutoda/find_the_link/index.html

SDGs カード <https://www.jica.go.jp/hiroba/teacher/material/sdgs/jhqv8b000006g80m-att/card.pdf>

The story of plastic (英語動画) <https://www.youtube.com/watch?v=iO3SA4YvEYU&t=26s>

奥村勇斗・加藤英嗣・関愛・中園真由美・伊藤容子・八木亜紀子 (2020) 『プラスチックごみ・開発教育アクティビティー集④』 開発教育協会

文部科学省 (2010). 『高等学校学習指導要領解説 外国語編・英語編』

森本俊・佐藤芳明 (編著) (2017). 『多文化共生時代の英語教育』 いいずな書店.

佐藤真久 (監修) (2019). 『未来の授業 SDGs 探究 BOOK』 宣伝会議.

佐藤真久 (監修)・たかまつなな (著) (2020). 『お笑い芸人と学ぶ 13 歳からの SDGs』 くもん出版.

独立行政法人 国際協力機構(JICA) 広報部 地球ひろば推進課 (2020). 『2020 年度 JICA 地球ひろば主催 国際理解教育/開発教育指導者研修 授業実践報告書 (上・下)』

独立行政法人 国際協力機構(JICA) 広報部 地球ひろば推進課 (2021). 『2021 年度 JICA 地球ひろば主催 国際理解教育/開発教育指導者研修 授業実践報告書 (上・中・下)』

佐藤真久・広石拓司 (2020). 『SDGs 人材からソーシャルプロジェクトの担い手へ』 みくに出版.

田中茂範・阿部一(2021). 『確かな英語の力を育てる 英語教育のエッセンシャルズ』 くろしお出版.

JICA 地球ひろば 『生きる力を育む 国際理解教育実践集』

https://www.jica.go.jp/hiroba/program/practice/education/materials/jhqv8b000005wd9w-att/materials_all.pdf

『つながる世界と日本 ホントは身近な途上国と私たちの暮らし』

https://www.jica.go.jp/publication/pamph/others/ku57pq00002navl2-att/find_the_link.pdf

開発教育協会 DEAR HP <http://www.dear.or.jp/book/>

ハンガー・フリー・ワールド HP <https://www.hungerfree.net/whatyoucan/study/>

外務省 (2020). 『日本とアフリカ』 <https://www.mofa.go.jp/mofaj/files/000087153.pdf>

国際交流基金 HP <https://www.jpff.go.jp/j/project/japanese/survey/area/country/>

Weekday _____ Month _____ Date _____ Weather _____
 Class _____ No. _____ Name _____

Review Based on the text p.86 and 88, fill in the blanks in the table below.

Question: Do you need that?

Things	Agree  PROs	Disagree  CONS
Vending machines	◆ Name : ◆ Reason :	◆ Name : ◆ Reason : ① ②
Book covers	◆ Name : ◆ Reason : ① ②	◆ Name : ◆ Reason :

Task

1. List as many things you don't think you need as possible in the mindmap below.

(身の回りで、自分が「これって必要ではない」と思うものについていくつか書き出してみましょう)



2. Pick one thing you'd like to address in this discussion. (1で挙げたもののなかから、1つ選びましょう)

The thing you chose : _____

3. Why do you think the thing you chose is unnecessary? Give some reasons.

(2で挙げたもので必要ないと思った理由を書きましょう)

4. If we don't use them, what problems can we solve around us?

(それを使わないようにすることで、身の回りのどんな問題が解決できるか?)

5. Make your opinion in English based on the format below.

(以下のフォーマットに沿って、自分の意見を英語で述べましょう)

I think it is unnecessary for us to have ① _____,

because ② _____.

By not having them, we can ③ _____.

(私は①が必要ないと思っています。なぜなら、②だからです。そうしたものを持たないことによって、私たちは③ができます)

ex: I think it is unnecessary for us to have ① vending machines, because ② they waste too much electricity. By not having them, we can ③ realize an eco-friendly society.



Discussion Make groups and tell your opinion one by one. Listeners should take notes in the table below and make your judgement for each opinion. (グループ内で1人ずつ意見を述べましょう。聞いている人はメモを取り、意見への同意の度合いを○しましょう。)

Name	Things	Opinion (Reason & Solution)	Your judgement
①			Totally disagree Totally agree 1----2----3----4----5----6----7
②			Totally disagree Totally agree 1----2----3----4----5----6----7
③			Totally disagree Totally agree 1----2----3----4----5----6----7
④			Totally disagree Totally agree 1----2----3----4----5----6----7

Discussion

After the discussion, in groups, decide one thing and make your action plan. Also, by not having these things, what can we learn to solve problems around us? Put SDGs logos related to this in the presentation sheet.

(ディスカッションの後、グループで1つの必要のないものに絞り、使わないようにすることで身の回りのどんな課題の解決につながるか?また、SDGsのどの項目と関連するかを考えよう)

Thing: _____

Reason: _____

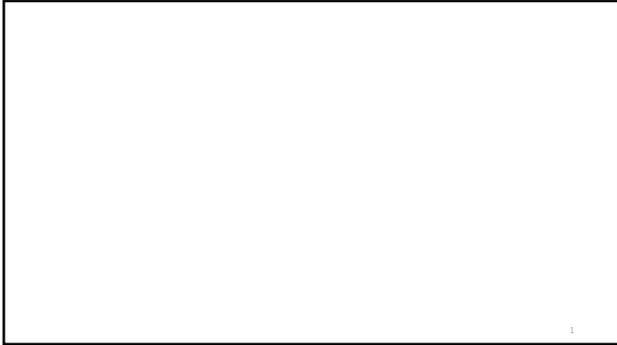
What we can realize: _____



In our opinion, we think it's unnecessary for us to have ① _____,

because ② _____.

By not having them, we can ③ _____.



1

What's the topic of this lesson?

Do you need that?

Is it necessary for us to have that?

↓
unnecessary

2

A1. Vending machines & Book covers



3

Lesson 8



Mike:  Vending machines in Japan are wonderful. You can buy things anytime, anywhere. Last summer, I became very thirsty while I was jogging in the park. Then I saw a vending machine. I was really happy to get a bottle of cold water. Thanks to vending machines, life is easier.



Bella:  That's true, but do we really need one on every street? I like to buy things from real people, not from machines. Besides, they waste too much electricity!

4

Q2 : Who thinks vending machines are unnecessary?

A2: Bella does.



5

Q3 & 4 : Why does Bella think so?

A3:

First, she likes to buy things from real people not from machines.



A4:

Second, vending machines waste too much electricity.



6

Lesson 8 ②

Hans:  I bought a book yesterday. The clerk at the bookstore asked me, "Would you like a book cover?" I was surprised. It already had a jacket. Isn't it a waste of paper?

Chen:  No, I don't think so. I always have a clerk put a cover on my book. Then I can keep the original jacket from getting dirty. Some bookstores have covers with their own designs. They are really nice. Also, when I'm reading a book, I don't want others to know the title. So, I need book covers.

7

Q5 : Who thinks book covers are unnecessary?

A5: Hans does.



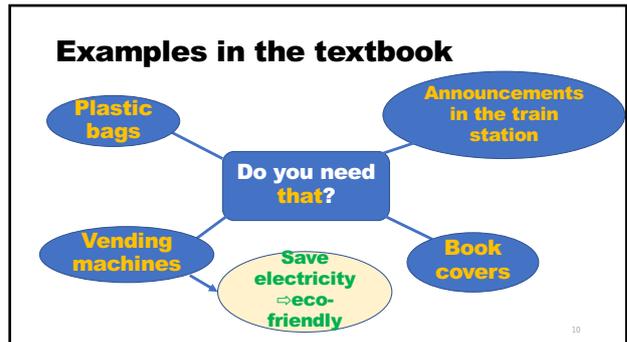
8

Q6 : Why does Hans think so?

A6: Because book covers are a waste of paper.



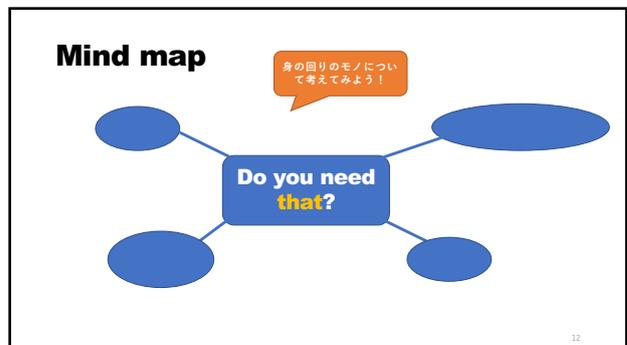
9



10

Things	Agree 	Disagree 
Vending machines	<p>◆ Name : Mike</p> <p>◆ Reason : Convenient —can buy things anytime, anywhere.</p>	<p>◆ Name : Bella</p> <p>◆ Reason : ① likes to buy things from real people, not from machines. ② Vending machines waste too much electricity</p>
Book covers	<p>◆ Name : Chen</p> <p>◆ Reason : ① keep the original jacket from getting dirty ② doesn't want others to know the title</p>	<p>◆ Name : Hans</p> <p>◆ Reason : waste of paper => already have jackets</p>
Announcements in the train station	<p>◆ Name : Aber</p> <p>◆ Reason : helpful —visitors and blind people to hear necessary information</p>	<p>◆ Name : Sarah</p> <p>◆ Reason : too noisy, make her feel like a child</p>

11



12

Take notes on three sticky notes.

① Unnecessary things
(不要だと思うもの)

② Reasons why
(上の理由)

③ What we can realize
(実現できること)

3つの付箋にメモをしよう!
(後で英語で調べて書いてもらいます)

13

13

Short presentation format

I think
it is unnecessary
for us to have vending machines,
because they waste too much electricity.
By not having them,
we can realize an eco-friendly
society.



①: 必要ないと思うもの (黄色の付箋)

②: ①の理由 (赤色の付箋)

③: 必要ないものを持たないことで実現 (解決) できること (青色の付箋)

14

14

Group Presentation: Opinion Database

A3用紙に以下のように付箋を配置する。

Name	Things	Reasons	what we can realize
Shunsuke	<div style="background-color: yellow; padding: 2px; display: inline-block;">Vending machines</div> <small>必要ないもの</small>	<div style="background-color: pink; padding: 2px; display: inline-block;">Waste too much electricity</div> <small>理由</small>	<div style="background-color: cyan; padding: 2px; display: inline-block;">Eco-friendly society</div> <small>実現できること</small>

Group ●●

15

15

Group Presentation: Opinion Database

Name	Things	Reasons	what we can realize
	<small>必要ないもの</small>	<small>理由</small>	<small>実現できること</small>

16

16

2つの理由を述べるとき

There are two reasons for this.

First, 1つ目の理由を「主語+動詞～」で表現

Second, 2つ目の理由を「主語+動詞～」で表現

17

17

Lesson 8 ①



Mike: Vending machines in Japan are wonderful. You can buy things anytime, anywhere. Last summer, I became very thirsty while I was jogging in the park. Then I saw a vending machine. I was really happy to get a bottle of cold water. Thanks to vending machines, life is easier.



Bella: That's true, but do we really need one on every street? I like to buy things from real people, not from machines. Besides, they waste too much electricity!

18

18

Kashu's opinion

①: 必要ないと思うもの

I think it is unnecessary for us to have plastic shopping bags, because overuse of plastics will cause destructions. It is harmful to human's health as well as in our environment.

②: ①の理由

By not having them, we can prevent pollution. [Saves energy. Reduces greenhouse gas emissions, which contribute towards climate change].

③: 必要ないものを持たないことで実現(解決)できること



Reflection: Everyone must be responsible, learn to take care of themselves and learn to take care of our environment.

25

Kashu's opinion

①: 必要ないと思うもの

I think it is unnecessary for us to have ①gas cars, because

②: ①の理由

②gasoline use contributes to air pollution. Vehicle pollutants harm our health and contain greenhouse gases that cause climate change.

③: 必要ないものを持たないことで実現(解決)できること



By not having them, we can ③reduce carbon emissions, and will avoid the worst effects of climate change.

26



Kylie's opinion

①: 必要ないと思うもの

I think it is unnecessary for us to have ①plastic fruit covers, because ②without plastic covers, you can choose exactly how much fruit you need.

②: ①の理由

By not having them, we can ③reduce plastic waste and food loss.

③: 必要ないものを持たないことで実現(解決)できること



28

Shun's opinion

①: 必要ないと思うもの

I think it is unnecessary for us to have ①toothpicks, because I don't use them when I use wooden chopsticks. Also, I rarely see anyone use them. That's why it's a waste of wood.

②: ①の理由

By not having them, we can ③save our forests and the ecosystems that live in them.

③: 必要ないものを持たないことで実現(解決)できること



29

Our Action



In our opinion, we think it's unnecessary for us to have ①_____ , because it ②_____ .

By not having them, we can ③_____ .

30